

愛媛県歴史文化博物館

No.71

# 歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

愛媛・佐田岬半島の裂織  
ツツレ  
(当館蔵)



京都・丹後の裂織

重要有形民俗文化財「丹後の紡織用具及び製品」  
サキオリミチユキ  
(京都府立丹後郷土資料館蔵)

鹿児島・奄美大島の裂織  
ウンチヨ

(国立民族学博物館蔵)

広島の裂織  
ツツレ  
(北広島町教育委員会蔵)

## 特別展

# さきおり 佐田岬半島と西日本の裂織

会期 平成24年 **10/6** 土 ~ **12/2** 日

開館時間 午前9時～午後5時30分  
(入館は午後5時まで)

休館日 毎週月曜日  
(但し、10/8(月)、11/5(月)開館、  
10/9(火)、11/6(火)休館)

主催 愛媛県歴史文化博物館

後援 愛媛県市町教育委員会連合会・  
愛媛新聞社・NHK 松山放送局・  
南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・  
愛媛朝日テレビ・愛媛 CATV・FM 愛媛

古木綿などを裂き、新たな布を再生する手仕事の技「裂織」。裂織は江戸時代に確認され、主に東北や日本海沿岸地方の仕事着として使われてきました。愛媛県佐田岬半島の裂織は、西日本・四国地方に存在する貴重な事例として全国的に注目されています。

本展では、当館の佐田岬半島の裂織コレクション(仕事着等)とともに、日本各地の様々な裂織をまじえて、西日本の裂織について紹介します。

### ■展示構成

I 日本裂織列島 / II 丹後地方の裂織 / III 四国・佐田岬半島の裂織

民俗

# 佐田岬半島の裂織の仕事着

この袖なしの衣服は、

愛媛県佐田岬半島(伊方町九町地区)で仕事着として使用されたもので、現地では「ツツレ」とか「ズリ」と呼ばれました。これは、裂織という織り方で作られています。経糸に木綿糸、緯糸には紐状に裂いた古木綿布が織り込まれ、使い古した布団や着物などが再利用されています。

柔道着のように生地が厚くて丈夫な裂織の仕事着は、袖なしの場合、主にオイコ(背負梯子)で農作物などを背負う時に、着物の上に着用しました。そうすると、肩や背中への負担が軽減され、着物を傷めないのが重宝したそうです。半島では、裂織の仕事着は「着て一生使える」とまでいわれました。

写真の仕事着を見ると、汚れや色あせがあります。また、スレ跡、破れなどの傷んだ箇所には、布を継ぎ当



年代 明治～昭和初期  
サイズ 身丈72.7cm、身頃幅22.3cm  
所蔵 当館蔵

※本資料は、特別展「佐田岬半島と西日本の裂織」にて展示予定です。

て、太い木綿糸を刺して修繕・補強されています。着物の背中央部分は傷みやすいため、身頃の前後・表裏をつけかえています。長年、着継がれていることがわかります。こうした裂織の仕事着の姿は、労働の過酷さや、佐田岬半島の人たちのモノを大切にしている「カンベン」(儉約の意)の心を物語っています。

(専門学芸員 今村賢司)

考古

# 直柄広鋤未製品

木器の製作は、まず切り倒した原木を、筏や籠のような道具に乗せて、集落まで運ぶところから始まります。持ち込まれた原木は、目的の木器の形に合わせて木取り、裁断し、整形されます。今回は、この木器製作の途中の工程が明らかとなった資料を紹介します。

平成9年に発掘調査が行われた新谷森ノ前遺跡では、弥生前期の集落の南限を示す自然流路から、製作途中段階の鋤や泥除等がまとまって出土しました。

本資料はそのうちのひとつで、長方形板材の片面に、鋤の柄に装着するための紡錘形隆起を削り出したものです。樹種はアカガシ亜属です。両端が欠損しているため、当初の長さは分かりませんが、少なくとも3個以上の鋤の獲得を目指していたことが想定されます。木取りは、検出の際、右側縁に樹皮が付着していたこと等から、ミカン割りによる板材を利用したと判断されます。ミカン割りとは、木の芯を中心にちょうどミカンの房を上から見たような形に割っていく割り方です。

木器は、腐朽しやすく見つかることは稀なため、本資料の発見は、製作途中の木器を集落内で保管していたことが裏付けられる事例として、大変重要であるといえるでしょう。

(専門学芸員 亀井 英希)

出土地 今治市新谷森ノ前遺跡  
年代 弥生時代前期  
サイズ 長さ130cm、幅30cm、厚さ2.5～3.5cm(板材部分)  
所蔵 愛媛県教育委員会蔵



特別展

# 「佐田岬半島と西日本の裂織」 関連イベントのご案内



平成24年10月6日(土)～12月2日(日)

【休館日】10/9・15・22・29  
11/6・12・19・26

## れきはく☆秋のクイズラリー

- 日 時／特別展会期中 9:00～17:30(受付は17:00まで)
- 場 所／常設・企画展示室
- 参加費／特別・常設展共通券(当日券)が必要です。



## 押し花でしおりをつくろう

- 日 時／特別展会期中の  
土・日・祝日  
9:00～12:00
- 場 所／こども歴史館
- 材料費／100円

## オリジナル 缶バッジをつくろう

- 日 時／特別展会期中の土・日・祝日  
9:00～12:00
- 場 所／こども歴史館
- 材料費／200円



## ギルディング ～キラキラ小びんをつくろう～

- 日 時／特別展会期中の  
土・日・祝日  
13:00～16:00
- 場 所／こども歴史館
- 材料費／300円



☆各イベントの事前申込は受け付けておりません。

## いもあめ ソフト芋飴をつくろう

- 日 時／特別展会期中の  
土・日・祝日  
13:00～15:00
- 定 員／各日先着30名
- 場 所／エントランスホール
- 材料費／300円



## れきはくのおしあと

平成24年7月14日(土)～9月2日(日)の土・日・祝日及び8月13日～15日には、「ラムネ菓子をつくろう」や「うちわ&ダンボール電車をつくろう」を開催しました。どの事業も好評で、たくさんの方に楽しんでいただけたようです。特に「ラムネ菓子をつくろう」では、「こんなに簡単にラムネができるんだ」や「楽しい!!」などといった声をたくさん耳にすることができました。その他にも「竹で水鉄砲」や「れきはくお化け屋敷 part3 -病院編-」など各種イベントを開催しましたが、連日多くのお客様で賑わいました。たくさんのご来館、誠にありがとうございました。



## 友の会よりお知らせ

友の会は、愛媛の歴史や民俗について学び親しむ人たちの集まりです。10月1日より入会いただく場合は、会費が半額になります。常設展が無料になる他、この秋の特別展も無料でご覧いただけます。ぜひ、この機会にご入会ください。

お問い合わせ先: 友の会事務局 0894-62-6222 星加

# 平成 24 年度 歴史文化講座・下期

## 歴史・文書講座 13:30~15:00

講座番号⑤名譽館長講座「源氏物語②」

日時:11月24日(土)  
講師:伊井 香樹(当館名誉館長)

講座番号⑥「中世絵巻を読み解く」

日時:1月19日(土)  
講師:土居 聡朋(当館学芸員)

講座番号⑦「安政南海地震の記録を読む①  
-南予地方を中心として-」

日時:3月10日(日)  
講師:安永 純子(当館学芸員)

講座番号⑧「安政南海地震の記録を読む②  
-南予地方を中心として-」

日時:3月24日(日)  
講師:安永 純子(当館学芸員)

## 「空海と和紙」関連講座

講座番号①「空海とその時代-奈良末期から平安初期の伊予-」

日時:12月9日(日) 13:00~15:00  
講師:寺内 浩氏(愛媛大学法文学部教授)

講座番号②「弘法大師空海の生誕地を訪ねる」(香川県善通寺市)

(定員:30名) 日時:1月27日(日) 7:30~18:00  
講師:大本 敬久(当館学芸員)  
参加費:3,150円



講座番号③「心と心をつなぐ伊予の水引」

(定員:30名) 日時:2月11日(月・祝) 13:30~15:30  
講師:青野 千舟氏(愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター)  
参加費:500円

講座番号④「愛媛の和紙文化を訪ねる」(四国中央市)

(定員:30名) 日時:3月23日(土) 7:30~17:00  
講師:大本 敬久(当館学芸員)  
参加費:2,500円



## 考古講座 13:30~15:00

講座番号③「文化財に光を当てる!①X線透過撮影装置」

日時:2月24日(日)  
講師:亀井 英希(当館学芸員)

講座番号④「文化財に光を当てる!②赤外線画像撮影装置」

日時:3月16日(土)  
講師:亀井 英希(当館学芸員)

お問い合わせ:企画普及グループ・歴史文化講座係  
TEL(0894)62-6222 / FAX(0894)62-6161

## 特別展「佐田岬半島と西日本の裂織」関連講座

講座番号①「佐田岬半島と西日本の裂織」

日時:10月8日(月・祝) 13:30~15:00  
講師:今村 賢司(当館学芸員)

講座番号②「木綿再生-丹後の裂き織り-」

日時:10月21日(日) 13:30~15:00  
講師:井之本 泰氏(元京都府立丹後郷土資料館資料課長)

講座番号③「裂織の里・佐田岬半島へ出かけよう!」(伊方町)

(定員:30名) 日時:10月27日(土) 9:00~16:00  
講師:小林 文夫氏(佐田岬裂織り保存会)  
高嶋 賢二氏(町見郷土館学芸員)  
参加費:2,500円



講座番号④「木綿の一生-着着からおむつまで-」

日時:11月4日(日) 13:30~15:00  
講師:松井 寿(当館学芸員)

講座番号⑤「裂織で小物づくり」

(定員:20名) 日時:11月17日(土) 13:30~15:30  
講師:安藤 久美子(当館学芸員)  
材料費:500円

講座番号⑥「村上節太郎写真から読み解く佐田岬半島」

日時:12月2日(日) 13:30~15:00  
講師:井上 淳(当館学芸員)

## 愛媛の「ものづくり」体験講座

講座番号①「ギルディング教室」

(定員:20名) 日時:11月3日(土) 13:30~15:30  
講師:齊藤 宏之氏(株五十崎社中)  
参加費:1,500円

講座番号②「砥部焼絵付け体験」in 歴博

(定員:30名) 日時:12月1日(土) 13:30~15:30  
講師:砥部焼観光センター 炎の里職員  
参加費:1,000円

講座番号③「体験満喫! 菊間瓦と今治タオル見学」(今治市)

(定員:30名) 日時:2月2日(土) 8:00~18:00  
講師:土居 聡朋(当館学芸員)  
参加費:3,700円



### 【講座の申込方法】

希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(「空海と和紙」関連講座②・④、特別展関連講座③、ものづくり体験講座③は2週間前)までにハガキなどでお申し込みください。定員に満たない場合は、申込締切後にも受付けます。応募者多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。参加費は、昼食代・講師謝金・施設観覧料等の実費です。

## 開館記念日無料開放日のご案内

当館では11月で開館18年目を迎えます。11月11日(日)は開館を記念し、常設展・特別展が無料でご覧いただけます。ぜひ、歴博にお越しください。

## ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

区分	一般		団体(2割引)	
	大人(高校生以上)	500円	400円	
常設展 テーマ展	中学生以下	無料	無料	
	65歳以上	250円	200円	

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。  
※団体は20名以上です。  
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

## Museum Calendar 2012-2011 休館日

9月							10月							11月									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
						1	1	2	3	4	5	6							1	2	3		
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10			
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17			
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24			
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30							

2012	常設展 えひめの歴史と文化	9	
10		特別展「佐田岬半島と西日本の裂織」 10月6日(土)~12月2日(日) ▶「開館記念日イベント」11月11日(日)	
11			
2013		1	▶「新春イベント」平成25年1月2日(水)・1月3日(木)
		2	▶「おひなさまイベント」平成25年3月2日(土)・3月3日(日)
		3	企画展「おひなさま」 平成25年2月19日(火)~4月7日(日)

※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



愛媛県歴史文化博物館  
MUSEUM OF EHIME HISTORY AND CULTURE  
管理運営:指定管理者 イヨテック ケータラーサービス株式会社  
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222  
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>  
●発行日 平成24年9月1日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館